

災 害 救 護 速 報

平成 29 年 7 月 7 日 (金) 18 : 00 現在
 事業局 救護・福祉部 救護課
 TEL : 03-3437-7084 / FAX : 03-3435-8509

※内容・数値等は、随時更新されます
 ※下線部は前回速報からの追加・変更箇所

平成 29 年 7 月 5 日からの大雨による災害に伴う日本赤十字社の対応について (3)

標記災害に伴う日本赤十字社の対応は以下のとおりです。

1 気象の状況 (7月7日 15時00分 消防庁災害対策本部発表資料による)

- 梅雨前線が西日本に停滞し、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため西日本では大気の状態が非常に不安定となっている。梅雨前線は7日にかけて西日本に停滞する見込み。
- 福岡県と大分県に発表された大雨特別警報は解除されたが、九州では局地的に雷を伴った激しい雨が降り、記録的な大雨となっている
- 7日18時までの24時間に予想される雨量は、多いところで九州北部地方200ミリ、九州南部地方で150ミリ。

2 人的・物的被害の状況 (7月7日 15時00分 消防庁災害対策本部発表資料による)

都道府県名	人的被害				住家被害				
	死者	行 方 不明者	負傷者		全壊	半壊	一部 破損	床上 浸水	床下 浸水
			重傷	軽傷					
人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟
島根県				1				1	13
福岡県	4	3	2	4	8	7	19	49	113
長崎県									4
熊本県				5			1	3	15
大分県	2		1	2	6	3	11	55	53
合計	6	3	3	12	14	10	31	108	198

3 避難の状況等（7月7日12時00分 消防庁災害対策本部発表資料による）

都道府県名	市区町村名	避難指示（緊急）		避難勧告	
		対象世帯数	対象人数	対象世帯数	対象人数
島根県	益田市			<u>7</u>	<u>17</u>
	小計			<u>7</u>	<u>17</u>
山口県	下関市			<u>4,000</u>	<u>9,661</u>
	岩国市			<u>38</u>	<u>85</u>
	小計			<u>4,038</u>	<u>9,746</u>
福岡県	久留米市			<u>5,762</u>	<u>13,480</u>
	北九州市	<u>8,787</u>	<u>23,021</u>	<u>21,190</u>	<u>42,351</u>
	宗像市			<u>4,013</u>	<u>9,336</u>
	小郡市			<u>0</u>	<u>0</u>
	うきは市			<u>1,900</u>	<u>5,686</u>
	嘉麻市			<u>0</u>	<u>0</u>
	朝倉市	<u>21,159</u>	<u>54,912</u>		
	筑前町			<u>0</u>	<u>0</u>
	東峰村			800	2,204
	大刀洗町			<u>0</u>	<u>0</u>
	添田町	<u>447</u>	<u>930</u>		
	苅田町			<u>8,362</u>	<u>27,229</u>
	小計	<u>30,393</u>	<u>78,863</u>	<u>42,027</u>	<u>100,286</u>
熊本県	菊池市			695	2,186
	宇土市			14,955	37,431
	合志市			145	380
	美里町			2,980	7,372
	大津町			303	781
	菊陽町			13	41
	南小国町			1,768	4,152
	産山村			571	1,408
	南阿蘇村	315	754	4,228	10,209
	小計	<u>315</u>	<u>754</u>	<u>25,658</u>	<u>63,960</u>
大分県	中津市			<u>4,177</u>	<u>9,187</u>
	日田市	<u>12,968</u>	<u>40,903</u>	<u>4,093</u>	<u>10,229</u>

	竹田市			0	0
	宇佐市			0	0
	小計	12,968	40,903	8,270	19,416
	合計	43,676	120,520	80,000	193,425

4 日本赤十字社の対応

7月7日 18:00 現在、日本赤十字社各県支部・施設における被害は確認されていません。

(1) 支部の対応

ア 第5ブロック

○ 島根県支部

- | | |
|------------|--|
| 7月5日 06:05 | 第1次救護体制にて情報収集。 |
| 06:10 | 第2次救護体制に移行。災害警戒本部を設置。
島根県災害対策本部と連絡調整のうえ、アセスメントや救援物資の配布等を準備。 |
| 08:10 | 益田赤十字病院災害対策本部を設置。 |
| 09:00 | 益田市地区（市社会福祉協議会）から毛布の支援要請あり。 |
| 10:31 | 支部職員2名が救援物資（毛布800枚）搬送のため益田市に向け出発。 |
| 13:30 | 益田市地区に毛布800枚を引き渡し。 |
| 17:00 | 支部救護体制を第1次救護体制に移行。 |

イ 第6ブロック

○ 福岡県支部

- | | |
|------------|---|
| 7月5日 16:00 | 第1次救護体制にて情報収集を実施。救護担当職員による当直体制。
日赤災害医療コーディネーターの医師と状況を共有。 |
| 7月6日 08:30 | 福岡県庁及び朝倉市役所災害対策本部に支部職員を連絡調整員として派遣し、情報収集を実施。 |
| 09:40 | 支部事務局長、事業部長、日赤災害医療コーディネーターの医師を福岡県庁に派遣し、医療救護の調整を実施。 |
| 10:50 | 被災した地区からの要請をうけ、朝倉市へ毛布500枚、大刀洗町へ毛布50枚やタオルセット10セットを搬送。 |
| 12:30 | 医療ニーズの調査のため、要員の派遣準備。 |
| 14:45 | アセスメントチーム第1班（嘉麻赤十字病院）を東峰村へ |

派遣。

- 17:35 アセスメントチーム第1班が活動を終了。
アセスメントチーム第2班（福岡赤十字病院）を東峰村・
宝珠山方面へ派遣、7日朝から活動開始予定。
7月7日 11:00 アセスメントチーム第2班が二手に分かれて活動中。
① 医師、看護師、主事にて糖尿病患者の診療（15名ほど）。
② 看護師長、看護師、主事にて医療ニーズ調査を実施。

○ 佐賀県支部

- 7月6日 09:30 第1配備体制にて情報収集等を実施。

○ 熊本県支部

- 7月5日 関係機関への情報収集等を実施。
17:00 第一配置 警戒体制にて情報収集を実施。支部職員自宅待機。
7月6日 08:45 被害状況及び救援物資の不足の有無等について地区・分区から情報収集を実施。
14:00 支部職員2名を連絡調整員として熊本県災害対策本部へ派遣。
16:30 連絡調整員が情報連絡会議に出席。
17:00 救護班2個班が準備態勢を整える。

○ 大分県支部

- 7月5日 20:05 第1次救護体制にて情報収集を開始。
支部職員を大分県災害対策本部へ連絡調整員として派遣し、情報収集を実施。
救護担当職員が支部待機。
7月6日 大分県災害対策本部に引き続き支部職員を連絡調整員として派遣。
日赤災害医療コーディネーターの医師が支部に入り、情報収集等を実施。
13:30 アセスメントチーム（大分赤十字病院）を日田市西部保健所へ派遣。
15:10 アセスメントチームを日田市西部保健所へ到着。

(2) 本社の対応

- 7月5日 18:00 第1次救護体制にて情報収集を開始。
7月6日 11:15 本社職員を福岡県支部へ派遣。
15:40 本社職員が福岡県支部に到着。情報収集を開始。
17:35 福岡県支部のアセスメントチーム第2班（福岡赤十字病院）に同行。

(3) 義援金の募集

日本赤十字社では、被災された方々の生活再建の一助とするため、義援金を受け付けています。お寄せいただいた義援金は、被害状況に応じて按分され、各被災県に設置された義援金配分委員会を通じ、全額を被災された皆様にお届けします。

詳しくは日本赤十字社のホームページをご参照ください。

http://www.jrc.or.jp/contribution/170707_004852.html

5 災害救助法の適用

標記災害により、多数の者が生命または身体に危害を受け、または受けるおそれが生じており、継続的に救助を必要としていることから、福岡県は3市町村、大分県は2市に災害救助法が適用されています。（平成29年7月5日適用）



（福岡県支部における救援物資搬送の様子）